

(新) 自動車の低炭素運転 (エコドライブ) 促進事業

253百万円 (0百万円)

水・大気環境局自動車環境対策課

1. 事業の必要性・概要

東日本大震災を踏まえ、国民の省エネ・省燃費に対する意識が大きく変化しており、日常生活に不可欠な自動車の利用についても、一層の低燃料・低炭素化することが必要であり、とりわけ、低炭素運転 (エコドライブ) に対しては、正しいエコドライブの普及啓発が強く求められている。

我が国 CO2 排出量の約 2 割を占める運輸部門のうち、約 8 割は自動車が占めており、約 100 万台の運送事業者等 (緑ナンバー) で、エコドライブが組織的に普及している一方、約 2,300 万台の法人車両 (白ナンバー) では、普及が十分には進んでいない。

このため削減ポテンシャルの高い法人車両 (白ナンバー) のエコドライブの普及を図るため、エコドライブ支援装置 (車載器・燃費計等) を導入したエコドライブ活動により CO2 排出抑制対策の取組を行う事業所 (企業・団体) 等に対して、導入費用の一部を補助する。

また、導入効果を高めるための講習会やフォローアップ等を行うとともに、エコドライブ活動の取組状況や成果等を「見える化」を図るため、一元的に管理・共有する「エコドライブ SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス)」を構築するなど、関係機関と連携して、エコドライブの効果的な全国推進を図る。

2. 事業計画 (業務内容)

事業実施年度：平成 24～28 年度

①エコドライブ重点促進事業

法人車両 (白ナンバー) を 50 台以上使用する事業所等に対して、エコドライブ支援装置 (車載器・燃費計等) の導入費用の 1/3 を補助する。

②エコドライブ推進状況「見える化」事業等

(ア) エコドライブ導入支援事業

①エコドライブ重点促進事業で補助を受けた事業所 (企業・団体) 等に対して、講習会・フォローアップ指導等を行いエコドライブ導入を支援する。

(イ) エコドライブ推進状況「見える化」事業

様々なエコドライブ活動の取組状況や情報を一元的に管理・共有する「エコドライブ SNS」を構築・管理運営を行い、エコドライブ効果の「見える化」を図る。

3. 施策の効果

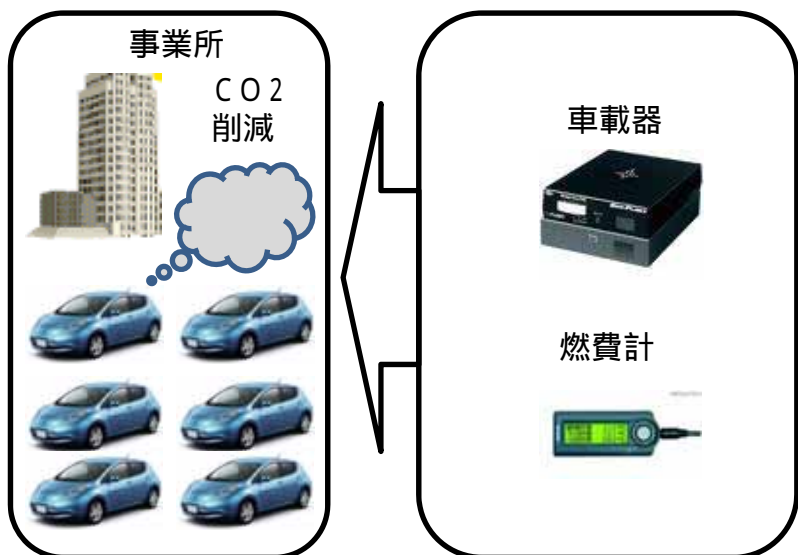
- ・法人車両 (白ナンバー) のエコドライブ普及による CO2 の削減
- ・「見える化」による全国的なエコドライブの普及・拡大

自動車の低炭素運転(エコドライブ)促進事業

(1) エコドライブ重点促進事業 (補助金)

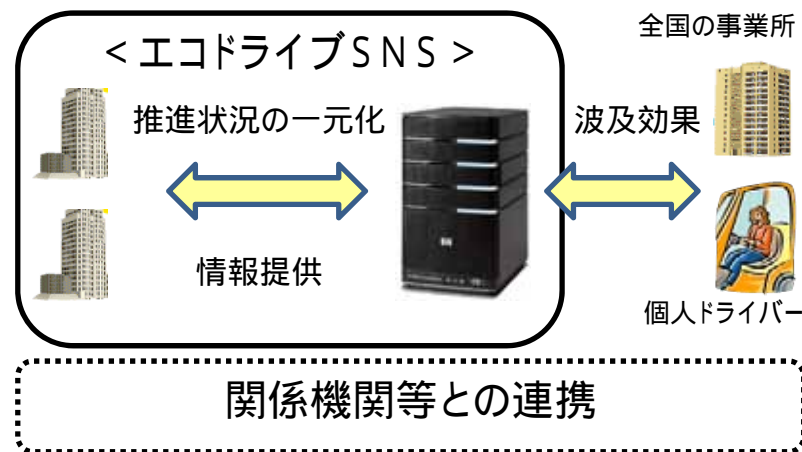
エコドライブメーター(車載器・燃費計)等を導入したエコドライブ活動によりCO₂排出抑制対策の取組を行う事業所等に対して、装置導入に係る経費の1/3を補助する。

< 導入対象設備 >



(2) エコドライブ推進状況 「見える化」事業等 (委託費)

重点促進事業による取組みをフォローし、その成果を全国的に波及するため、エコドライブ活動の推進状況を一元的に管理・共有する「エコドライブSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)」を構築し、エコドライブ効果の「見える化」を図るとともに、関係機関等と連携して、エコドライブの効果的な全国推進を図る。



自動車の低炭素運転(エコドライブ)促進事業

< 事業の必要性 >

- ・東日本大震災に伴い、国民の省エネ・省燃料に対する意識が大きく変化
- ・日常生活に不可欠な自動車利用の低炭素化(エコドライブの実践)が急務

事業概要

「中長期ロードマップ」では、2020年におけるエコドライブによるCO2削減効果を390万トンと試算。実現のためには、削減ポテンシャルの高い法人車両(白ナンバー)等においてエコドライブ活動を促進する対策が不可欠。このため、高い削減効果が期待できる事業所の取組みを促進するため、エコドライブ支援装置の導入経費を補助する。また、導入効果を高めるため、講習会やフォローアップ等を行うとともに、成果を全国的に波及するため、様々なエコドライブ活動の取組状況を一元的に管理・共有する「エコドライブSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)」を構築し、関係機関等と連携して、効果的な全国推進を図る。

< 運輸部門 >

エコドライブで2020年までに

390万トン削減

ー ロードマップ削減目標 ー

個人車両

4,900万台



削減目標
80万トン

法人車両(白ナンバー)

2,300万台



削減目標
230万トン

法人車両(緑ナンバー)

100万台



削減目標
80万トン

連携した推進

関係機関

関係機関

エコドライブ推進状況を「見える化」し、全国推進 ～削減効果の高い事業所にエコドライブ支援装置導入補助～

エコドライブ重点促進事業

エコドライブ支援装置導入補助金 (1/3を補助)

エコドライブ活動に50台以上参加可能な事業所等を選定

< 導入対象装置 >

エコドライブメーター(車載器・燃費計等)



導入事業所



< エコドライブSNS >
推進状況の一元化

エコドライブによるCO2削減

情報提供



エコドライブ推進状況
「見える化」事業等

○エコドライブ導入支援事業

・公募手続、講習会、フォローアップ等

○エコドライブ推進状況「見える化」事業

・SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の開設・運営

エコドライブ推進状況(燃費データ記録・CO2削減量等)の一元管理・情報共有、提供など交換サイト、エコドライブ情報の提供等

・支援ツールの作成

・啓発活動、シンポジウム開催等

波及効果



関係機関との連携